

大阪市立大学 工学部 電気情報工学科
大学院 工学研究科 電子情報系専攻 応用システム領域

准教授 永田好克 修士(工学)
nagatay@osaka-cu.

Assoc. Prof. Nagata Yoshikatsu



研究テーマ名：空間情報を活用した歴史的な情報の統合と多様性の分析

キーワード： 空間情報システム、人文科学とコンピュータ

高校生への一言：

好奇心が技術や技能を高める原動力です。習得した技術で平穏な社会の維持に貢献できることを期待しています。

大学での担当科目：プログラミング入門、電気情報工学応用演習

大学院での担当科目：

所属学会： 情報処理学会、地理情報システム学会、日本熱帯農業学会、システム農学会、人文系データベース協議会、アジア歴史地理情報学会

1. 研究概要

現代生活での便利なサービスには位置や地名の情報が不可欠なものが数多く存在します。荷物を届けたい、訪問したいという、今、あるいは、これからの要望に応じてくれる情報はすでに充実しています。一方で、さまざまな資料に記録された過去の地名については、名称の変遷、使われた時代、位置などの情報を集めることを含めて、情報を電子化するには試行錯誤を繰り返しながら整備を進めなければならない段階です。地名はその場所の自然環境や人々が関わった歴史や文化を示す重要な記録の一つです。

私の研究ではタイとラオスにまたがる地域を中心に、古い地図や現在も使う地図から地名を集めてその関係を整理し、まずは学術研究のために古い地名を検索できるシステムを作ることに取り組んでいます。タイの農村でその地域のちょっとした遺物や伝承、この先消えてしまうかもしれない単語などを、電子情報として後世に継承していくための研究をチームで取り組みました。村の先人たちがどこから移り住んできたかなど話題には昔の地名が語られますが、今の地図でどこにあるのか不明なことが多々あります。多様性豊かな今の地域社会に至る成り立ちを知るための基礎情報を後世に伝承するプラットフォームとして空間情報が貢献できると考えています。

2. 高校生向けに提供可能な講演テーマの例（実績も含む）

時空間情報からみたタイの農村